

木場潟公園の令和5年度管理状況

様式 1

施設所管課	土木部公園緑地課
施設管理者	公益財団法人 木場潟公園協会
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
中期経営目標 (R5～R9)	①利用者数を5年間で8%以上増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・ 利用促進	<p>①公園内の話題、規制等を全園地が共有し、どの園地にも対応し接遇に努めた。</p> <p>②アンケート、投稿メール、日報など職員に対する意見等は、全員が共有し接遇に努めた。</p> <p>③木場潟公園ホームページからの公園に対する苦情要望、公園利用に関する問合せや申し込みがしやすくなった。</p> <p>④木場潟公園ホームページに東園地を追加し、公園の情報などのリニューアルを図った。</p>
② 広報活動	<p>①ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用し公園の情報発信に努めている。</p> <p>②四季の希少な植物情報は、随時新聞やテレビの報道機関を活用して多くの来園者の増加につながった。</p> <p>③木場潟を通じた環境団体と連携した環境保全、環境教育、ボランティア活動を推進した。小松市の「こまつ環境パートナーシップ」に加わり、市ぐるみの環境保全の連携を広める活動を行った。</p>

(2) 令和6年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>①東園地と連携した情報共有を図る。(事件事故、イベント開催等)</p> <p>②西園地展望休憩所での夜間音楽ライブ等の開催</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R元 年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比	基準値比	R9年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	745,402人	752,299人	803,357人	713,520人	88.8%	95.7%	805,000人
(2) 貸館稼働率(%)					.0 ^対	.0 ^対	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	96.1	99.0	99.0	99.1	.10 ^対	3. ^対	95.0
施設の維持管理(%)	96.8	99.0	100.0	97.3	-2.70 ^対	.5 ^対	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	4月は桜の開花が早まり2万人の減 7、8月は酷暑により13千人の減 10月はクマ出没による16千人の減などにより利用者の減となった。	同 左
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果（令和5年4月～令和6年3月実施 有効回答数164件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	66.2	32.9	0.9	0.0
施設の維持管理(%)	68.3	29.0	2.4	0.3

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	毎日
(2) 設備保守点検	遊具・・・日々点検、定期点検5月 その他の施設・・・専門業者に委託 その他は、公園協会職員による点検
(3) 植栽維持管理	樹木、芝、園地についてその一部を専門（造園）業者に委託
(4) 警備	園内巡回
(5) 小規模修繕	老朽化施設、備品の更新、枯損木の伐採

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	①緊急時の連絡体制の確認 ②消火器等設備の設置場所の再確認
(2) 個人情報の管理状況	個人情報の取り扱いについて、事務局長が責任者となり年度当初及び中間期に職員に対し周知徹底している。

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
貸しポート	36		
シャワー	38		
合計	74	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
貸しポート	7	4	※県民スポーツの日4/22、0隻 こどもの日5/5、12隻 計12隻
シャワー	4		
合計	11	4	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	53,049	人件費	27,392
利用料収入	11	光熱水費	4,575
その他	19,022	修繕費	3,774
		緑地管理費	20,175
		その他	16,166
合 計 ①	72,082	合 計 ②	72,082
収支差額 ①－②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和5年5月	三谷町揚水ポンプ場北側潟中にある枯柳の木伐採	伐採について検討中
令和5年6月	園路に通行区分を表示しているにもかかわらず横一線に歩いている人を見かける。また、犬の糞を始末していない	見かけたときには注意
令和5年6月	公園の桜や柳の枝の枯枝が田んぼに落ちて困る	随時枝の剪定を実施
令和5年7月	園路歩行者の横を車両で通過する際、スピード落とし間隔を開けないと危ない	園路通行は歩行者優先スピードを落とし間隔を開ける
令和5年7月	湿原の森木道を修理してほしい	県に修理要望します。 ※1/18県発注工事完了 工期中に一箇所破損発生。
令和5年9月	北園地のスロープでは車いすで休憩所に入り難い改修してほしい	県と協議
令和5年10月	園路でのマラソン大会を歩行者の安全上禁止してほしい。また、ルール作りをしてほしい	県にも同様のメールがあったため協会で回答せず県に対応を依頼
令和5年10月	北園地のスピーカから雑音が多すぎて聞き取れない	クマ対策の一環で行っていた放送を停止。西園地、多目的グラウンドも同じ状態のため放送を停止
令和5年12月	北園地休憩所内にい愛犬家がたむろしており、犬臭くて利用できない立入禁止にしてほしい	休憩所内への立ち入り制限はできません。休憩所内で糞尿をさせないように貼り紙で注意喚起
令和6年3月	遊具を早く直してほしい	県に修理を依頼

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
令和5年9月	公園センター西側出入口通路段差でつまづき転倒	段差舗装解消
令和5年11月	強風で倒木被害	伐採処分
令和5年12月	南園地ボートハウス段差でつまづき転倒	段差注意表示

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木場潟の自然環境を保護すると共に、関連施設や他機関と連携して、利用促進を図っている。 ・ 公園の話題を報道機関に提供するのに加え、季節ごとの公園の魅力をSNSを有効に活用し、利用者へ情報発信を図っている。 ・ 数多くの自主事業を企画・実施し、利用者数の増加に繋げている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕・除草・除雪等において仕様書の範疇を超えて維持管理運営をしている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターを活用し、人件費の削減に努力している。 ・ 光熱水費について、毎月のメーター確認を実施して無駄な費用負担を削減している。 ・ 小松市が実施する流し舟の運航への協力を積極的に行っている。 ・ クマ対策として、マニュアルを作成し、利用者の安全対策を実施している。
総合評価	A	<p>様々な自主事業の企画のほか、経費の節減や修繕を行い、多くの利用や満足度の向上につなげている。</p>

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項